

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 横浜鶴見教室

保護者等数(児童数) 33名

回収数 29件(割合83%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	4			集団と個別のブース分けがきちんと配慮されている。	活動分けにはマットを敷いたり、課題を行う机の色を分け構造化を用いた工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27			2	送迎時などは見て分かるが、それ以外は実際見る機会がほぼない。	連絡アプリで連絡帳記入する職員を固定せず、様々な職員が記入することで適切に配置されていることを知ってもらおう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26			3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1				
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	2	2	10	通っている園では交流があるがこぼんの活動中は不明。	あまり機会に恵まれない。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1		2		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	5	1	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1		1	定期的な面談があり子供の成長など聞くことができます。	今後も、お子様の成長を感じることを保護者の皆様を共有させていただけると嬉しく思う。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	6	9		年に一回秋祭りを開催することで保護者の皆様の交流の機会になれば良いと考えている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		2		
保 護 者	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1				

自 己 へ の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26			3	子どもの様子が知れて嬉しい。	定期的にSNSを更新し、活動内容をお知らせしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2		2		事故が起きた際や緊急時の対応に関しては、契約時丁寧に説明しているが、長年通所して下さっているご家庭にはお手紙を配布することを検討している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		4		定期的に避難訓練を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		4		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1			先生たちにたくさん褒めてもらえるので楽しく通えています。毎日行きたいと言っています	特定の児童だけでなく、通所している児童の全員が楽しいと感じる活動やプログラムを提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1			活動の様子も細かく伝えてくださりとても満足しています。希望者利用者が多くスポット利用やキャンセル待ちが多い。	保護者の方々からの満足度は、職員の励みになっている。今後も連携を図りながら共有を深め良い支援に繋げたい。

公表日

2026 年 2 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜鶴見教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		机の配置を工夫し、動線を確保していること	備品が増えることで有効スペースが圧迫されないようにレイアウトしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		急な欠勤やトラブルにそなえ、フリーで動ける職員を配置している。	特定の職員に負担が偏らないように情報共有をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	パーテーションなどを使用して必要に応じて空間の整備を行っている	一軒家のため、バリアフリー化が難しい部分はどうしても出てくる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		次亜塩素酸などを用いた定期的な消毒を行っている。	壁に興味に合わせた提示物が貼ってあるが、間違い探しや迷路なども検診している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		限られた教室の広さの中で、他のお子さまから完全に遮断されたスペースをどのように確保するかが課題。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		保護者向けのアンケートを実施している期間から回収までを周知し、その内容の振り返りを迅速に行うこと。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	個々の意見を直接上職者に伝えていることで改善はされている。	ミーティングの機会を増やすための時間を作っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修機会は多いと思う。	職員全員が研修できるように時間を作っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		お子さまの成長に合わせてプログラム内容を変更している。	毎月月間プログラムカレンダーを作成し配布している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		半年に一度の面談を徹底し、家庭や学校の様子と事業所での姿を照らし合わせて支援計画を立案している。	二つの優先順位がお子さま・保護者・事業所で食い違いが起きないように丁寧にアセスメントを行っていきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		本人のための支援になっているかを話し合っている。	会議時間の確保が困難な時がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	特定の職員に偏らず、職員間で相談し合い、プログラムを決定している。	レクリエーションや療育手法を取り入れていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節の行事や、旬の食材を取り入れた食育を行っている。	五領域のバランスを考えていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動が苦手なお子さまには、小集団や個別ブースからの参加を促している。	一人一人の役割や見せ場を作っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝礼・昼礼時に支援内容の周知や役割分担を行っている。	気付いた点は随時報告してる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		5	送迎後にいる職員で報告をしあっている	終礼をしたいがどのタイミングで行うかを検討中。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度の面談・モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	保護者にとって分かりやすい支援計画を心がけている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	依頼や要望があれば行われている印象がある。	関係機関連絡会への参加で他事業所との連携を図りたいと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳では出来たことをポジティブにお伝えするようにしている。	送迎時などの時間を使い、お子様の様子をお伝えしている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		重要事項説明書に基づき、契約時に丁寧な説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		お子さまの希望と、保護者の願いを丁寧に聞き取り、納得感を重視している。	お子さま自身の意思表示が難しい場合でも表情や行動から意向をくみ取れるようにしたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	年に一回秋祭りを行い、教室開放をすることで交流の機会を作っている。	様々な縛りの中での開催であるため、時間も限られている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			写真の掲載承諾はご契約時に記載をお願いしているが、ご利用年数が長い方は年ごとに確認する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		お子さまの記録を鍵付きの保管庫へ管理している。	SNSへの写真掲載の際は、保護者の同意を再確認したり、複数の指導員が確認作業を行っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カードを使用して意思を伝えやすいように環境を整えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを作成し、訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		震災や感染症の蔓延を想定したBCPを作成している。	避難歩行訓練の回数を増やしていきたい。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		個別対応している。一覧表にして分かりやすい場所に貼っている。	一覧表にし分かりやすい所に貼っている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			業務日報にヒヤリハットを記入し、職員がいつでも確認できるようにしている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員全員が研修できるように周知を徹底している。	多くの職員が一度に研修を受ける時間を確保していきたい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束の研修を行い、認知を深めている。また、子どもの身の安全を守るため体を抑える必要性があった際は保護者へ報告をしている。	